文系ラボ　世界史のテーマ史

世界史 東西交流史 確認問題集

全19問　／　解答・解説は後半　　名前 _____

記事「世界史 東西交流史まとめ｜草原の道・オアシスの道・海の道を整理」を読んだあとに解く問題集です。答えを書いてから後半の解答・解説で確かめ、間違えた問題は解説にある記事の節を読み直してください。

第1部　一問一答

問いに当てはまる語句を答えなさい。

1 中国の絹が西へ運ばれたことから、19世紀にドイツの地理学者リヒトホーフェンが用いた言葉に由来する、東西交通路の呼び名は何か。

2 97年に班超の命で大秦へ向かったが、パルティアを通ったのち引き返した後漢の人物は誰か。

3 前漢の武帝が河西地方に置いた、西域への入口となった郡は何か。本文で挙げた郡名を答えよ。

4 1〜2世紀、季節風を利用してローマ帝国の地中海世界と南インドを結んだ交易の主な担い手は何系の商人か。

5 西域の亀茲（クチャ）出身で、長安に迎えられて多くの仏典を漢訳した僧は誰か。

6 唐で、ゾロアスター教・ネストリウス派キリスト教・マニ教をまとめて何と呼んだか。

7 唐・宋の時代、広州や泉州に設けられた外国人の居留地を何というか。

8 南宋から元の時代に広州をしのぐ中国最大の貿易港となり、西方ではザイトンの名で知られた港はどこか。

9 モロッコ生まれで、1325年にメッカ巡礼に出発し、14世紀半ばに元の中国を訪れた旅行家は誰か。

10 マテオ＝リッチと徐光啓がユークリッドの幾何学を漢訳した書物は何か。

第2部　正誤問題

次の文ア〜エのうち、誤っているものを1つ選びなさい。

11 漢代の東西交流について。

ア　張騫は、大月氏と結んで匈奴を挟み撃ちにするために派遣された。
イ　大月氏に匈奴と戦う意志がなく、張騫の同盟交渉は成立しなかった。
ウ　班超は西域都護となり、自ら大秦（ローマ帝国）に到達した。
エ　166年、大秦王安敦の使者を名のる者が海路で日南郡に来た。

12 求法僧について。

ア　法顕は東晋の僧で、陸路でインドへ行き海路で帰った。
イ　玄奘は唐の僧で、海路でインドへ往復した。
ウ　玄奘の旅行記『大唐西域記』は、小説『西遊記』の題材になった。
エ　義浄は帰りの途中でシュリーヴィジャヤに滞在した。

13 モンゴル時代の東西交流について。

ア　プラノ＝カルピニはローマ教皇の使節としてグユク＝ハンに会った。
イ　ルブルックはローマ教皇の使節としてモンケ＝ハンに会った。
ウ　マルコ＝ポーロは元のフビライに仕えた。
エ　モンテ＝コルヴィノは大都で布教し、大司教に任じられた。

14 明・清と東西交流について。

ア　鄭和の南海遠征は、永楽帝の命で始まった。
イ　鄭和の艦隊の分遣隊はアフリカ東岸に達した。
ウ　典礼問題で、イエズス会は中国の信者が儀礼に加わることを否定した。
エ　1724年、雍正帝はキリスト教の布教を全面的に禁止した。

第3部　年代の並べ替え

次のア〜エを、古いものから年代順に並べなさい。

15 求法僧と西域の出来事を年代順に並べなさい。

ア　玄奘が長安を出発した。
イ　班超が西域都護となった。
ウ　義浄が広州から海路でインドへ渡った。
エ　法顕が長安を出発した。

16 唐と海の道に関する出来事を年代順に並べなさい。

ア　タラス河畔の戦いが起きた。
イ　大秦王安敦の使者を名のる者が日南郡に来た。
ウ　阿羅本らが景教を長安に伝えた。
エ　武宗が仏教を弾圧し、三夷教の寺院の多くが壊された。

17 モンゴル時代以降の出来事を年代順に並べなさい。

ア　ヴァスコ＝ダ＝ガマがカリカットに着いた。
イ　モンテ＝コルヴィノが大都に着いた。
ウ　スペインがマニラを建設した。
エ　鄭和の南海遠征が始まった。

第4部　論述問題

次の問いに答えなさい。字数は目安です。

18 モンゴル帝国の成立が東西交流に与えた影響を、駅伝制と、元を訪れた人物にふれながら150字程度で説明しなさい。

19 16世紀に大量の銀が明に流れこんだ経路と、それが明の税制に与えた影響を120字程度で説明しなさい。

世界史 東西交流史 確認問題集　解答・解説

第1部　一問一答

1 **シルクロード（絹の道）**

本来は中央アジアのオアシス都市を結ぶオアシスの道を指しますが、草原の道や海の道を含めた3本全体を指して使うこともあります。

記事の該当箇所：まず全体像

2 **甘英**

大秦（ローマ帝国）には着いていません。西域都護として西域を経営したのは班超です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／古代

3 **敦煌郡**

武帝は匈奴を退けて河西地方に敦煌郡などを置きました。前1世紀半ばには西域都護も置かれます。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／古代

4 **ギリシア系商人**

そのようすは『エリュトゥラー海案内記』に記されています。8世紀になると担い手はムスリム商人に移りました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／季節風貿易

5 **鳩摩羅什**

同じく亀茲出身の仏図澄は、310年に洛陽に来て布教しました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／仏教の東伝

6 **三夷教**

それぞれ祆教・景教・摩尼教と呼ばれました。三夷教の寺院は845年の会昌の廃仏で多くが壊されました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／唐の国際性

7 **蕃坊**

アラブ人やペルシア人の商人が暮らしました。海上交易を管理した役所の市舶司と区別します。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／海の道の主役

8 **泉州**

マルコ＝ポーロもその繁栄ぶりを書き残しています。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／海の道の主役

9 **イブン＝バットゥータ**

見聞は帰国後に口述で『三大陸周遊記』にまとめられました。マルコ＝ポーロの『世界の記述（東方見聞録）』と区別します。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／モンゴル帝国

10 **幾何原本**

徐光啓はアダム＝シャールらの協力で『崇禎暦書』をまとめ、『農政全書』も編みました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／イエズス会

第2部　正誤問題

11 **ウ**

大秦へ向かったのは班超の部下の甘英で、甘英も途中で引き返しました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／古代、入試で狙われるポイント

12 **イ**

玄奘は陸路で往復しました。海路で往復したのは義浄です。

記事の該当箇所：比べて覚える

13 **イ**

ルブルックはフランス王ルイ9世の使節です。教皇の使節はプラノ＝カルピニです。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／モンゴル帝国（人物の表）

14 **ウ**

イエズス会は孔子や祖先をまつる儀礼への参加を認めていました。反対したのはあとから来たドミニコ会やフランチェスコ会などです。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／明の鄭和、イエズス会と典礼問題

第3部　年代の並べ替え

15 **イ→エ→ア→ウ**

班超（91年）→法顕（399年）→玄奘（629年）→義浄（671年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

16 **イ→ウ→ア→エ**

安敦の使者（166年）→景教の伝来（635年）→タラス河畔の戦い（751年）→会昌の廃仏（845年）の順です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／季節風貿易・唐の国際性

17 **イ→エ→ア→ウ**

モンテ＝コルヴィノ（1294年）→鄭和の遠征開始（1405年）→ガマのカリカット到着（1498年）→マニラ建設（1571年）の順です。

記事の該当箇所：まず全体像（年表）

第4部　論述問題

18 **解答例：モンゴル帝国はユーラシアの東西を支配し、ジャムチと呼ばれる駅伝制を整えて、許可証を持つ使節や官吏が駅を乗り継げるようにした。これにより東西の往来が活発になり、教皇の使節プラノ＝カルピニやルイ9世の使節ルブルックがモンゴルを訪れた。元ではマルコ＝ポーロがフビライに仕え、モンテ＝コルヴィノが大都で布教し、イブン＝バットゥータも泉州などを訪れた。**

採点のポイント：①ユーラシアの東西にまたがる支配、②ジャムチ（駅伝制）の内容、③カルピニ・ルブルックとそれぞれの派遣者、④マルコ＝ポーロ・モンテ＝コルヴィノ・イブン＝バットゥータのうち複数、が入っているか。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／モンゴル帝国、論述で使える要点

19 **解答例：スペインは1571年にマニラを建設し、メキシコのアカプルコとの間のガレオン貿易で、アメリカ大陸の銀をマニラ経由で中国にもたらし、中国の絹織物や陶磁器を運んだ。ポルトガル商人はマカオと日本を結び、中国の生糸と日本の銀を取り引きした。こうして流れこんだ銀を背景に、税を銀で納める一条鞭法が広がった。**

採点のポイント：①マニラとアカプルコのガレオン貿易、②アメリカ大陸の銀、③マカオと日本の銀、④中国から運ばれた産物、⑤一条鞭法、が入っているか。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／明の鄭和と大航海時代

記事：世界史 東西交流史まとめ｜草原の道・オアシスの道・海の道を整理　https://lawcityblog.com/sekaishi-theme-toozai/
問題・解説は文系ラボのオリジナルです。無断転載を禁じます。